

授業科目名・形態	高齢者福祉論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操	実務経験の有無	無	開講期	1年後期

【授業の主題】

高齢者の生活を取り巻く社会情勢や高齢者施策の変遷のなかで、再雇用・就労問題、扶養や放任・虐待など高齢者と家族が抱えている様々な生活課題を、社会福祉や介護問題として理解する。その上で生活支援にあたって必要とされる福祉や介護の考え方、介護保険制度や高齢者医療制度など高齢者福祉・介護に係わる他の法制度について理解する。

【到達目標】

1. 高齢者とその家族を取り巻く社会環境を理解する。
2. 高齢者福祉の発展過程について理解する。
3. 高齢期の介護問題と施策について、介護保険制度を中心に理解する。
4. 高齢期の健康維持と医療制度について理解する。
5. 高齢期の社会参加と就労・教育・地域活動。
6. 高齢期の特徴・生活課題を踏まえたソーシャルワークを理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 高齢者と少子高齢社会
- 第2回 高齢者福祉とその歴史的変遷、老人福祉制度
- 第3回 高齢者の生活実態と社会環境
- 第4回 高齢者の所得・社会保障問題
- 第5回 介護保険制度①（介護保険制度の背景と目的）
- 第6回 介護保険制度②（介護保険制度の仕組み：保険者と被保険者、保険料、保険給付）
- 第7回 介護保険制度③（介護保険サービス）
- 第8回 高齢者保健福祉の法体系
- 第9回 高齢者医療確保法
- 第10回 虐待防止と成年後見制度
- 第11回 高齢者雇用安定法、育児介護休業法
- 第12回 高齢者支援の専門職とその役割、専門職以外の支援を行う人たち
- 第13回 高齢者と家族等に対する支援の実践①
- 第14回 高齢者と家族等に対する支援の実践②
- 第15回 高齢者福祉の課題

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

前回講義を復習する。講義予定箇所を読み、専門用語、概念等について調べておく。疑問点を整理しておく。講義中に事例として取り上げたニュースなどは自分で確認しておく。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、社会保障論、地域福祉論等

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『高齢者福祉 第2版』 中央法規

【参考文献】

適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%・期末試験の成績 60%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

超高齢社会をむかえ、高齢者政策が重要な時代であることをふまえ、高齢者が抱える多様な生活問題（世帯・所得、医療・介護、住居、コミュニケーション等々）に対しての現状と課題を理解できるよう地域文化も含めた生活環境と生活実態に関心を持って下さい。高齢者問題を介護問題に収斂せず、地域包括支援システムを理解する。